

1

センター  
活用事例

商標登録



ガーデン席(夏季)ではペット同伴が可能。



バリアフリーで全席から田沢湖を見渡せるORAEでは地モノ新鮮野菜が主役の料理と蔵出しビールを楽しむ。

## 商標取得でブランドを保護 旬の味で乾杯を

### 株式会社トースト

〒014-1204 秋田県仙北市田沢湖田沢字春山37-5 TEL.0187-58-0608 FAX.0187-58-0609  
<http://www.toast.co.jp>



「一番おいしい  
ものを一番おいしい  
ときに楽しんで」

#### お客様に安心して選んでいただくために

田沢湖畔でビール製造とレストラン運営を手掛ける株式会社トースト。「Toast」は英語で乾杯・祝杯を意味し、地元の旬な食材を使用し、お客様により安全で楽しめる“食”の提供を行うことを理念としている。「主力商品の名称の商標登録について、活性化センターの知財窓口に支援していただきました」と語るのは取締役兼ビール醸造責任者の関口久美子さん。こだわりの麦芽を使用し全国でも珍しい三釜式で作られている同社のクラフトビールは、全国酒類コンクールでの入賞実績を多数持つ実力派だ。だからこそ、類似商標調査は不可欠であり、他社商品との差別化のための商標登録が重要となる。「最も懸念していた登録可否の調査もその場でして頂き、確実かつ短時間に進める事が出来ました。一連のプロセスを丁寧に指導いただき、とても心強く感じました。商標登録や特許申請等を考えている企業仲間には、まずはセンターを利用するように勧めています」。

#### 自慢のビールと料理を多くの人に

同社の販売部門「湖畔の杜BEER」では、活性化センターの専門家派遣制度を活用しながら最新の動向に対応し、SNSでの発信やオンラインショップによる販路拡大を加速している。一方で、「湖畔の杜レストランORAE(おらえ)」では、より多くの人に、湖畔の景色とともに旬の料理と蔵出しビールを楽しんでもらえるよう、ユニバーサルデザインを考慮した店内にするなど工夫を凝らしている。「その時の旬のものを一番おいしい形でご提供したいので、ORAEのメニューは季節ごとに変わります。また、北限のお茶(製茶として)とも呼ばれる伝統作物の“檜山茶”を使用したビールの開発や、地元の野菜“田沢の地ウリ”の栽培を自社で手掛けることで伝統野菜を守る活動も行っており、秋田の伝統野菜を盛り込んだ“伝統野菜プレートセット”を毎年10月から春まで提供しています。今後もたくさんの方に秋田のおいしいものを、一番おいしい時期に味わっていただきたいと思います」。

活用事例

### 知財の総合支援窓口

特許や商標などの知的財産の出願・権利化、技術ノウハウ等の知的財産の秘匿管理、知的財産のビジネス活用などに関するお悩みや課題の解決を支援します。

お問い合わせ 知財・デザイン支援課 TEL.018-860-5614